

暁星 (Hyosung) の Hyun-Joon Cho 会長、ESG 経営に積極的な姿勢

ソウル (韓国)、2023 年 6 月 20 日 /PRNewswire/ -- 暁星 (Hyosung) の Hyun-Joon Cho 会長は、ESG 経営に拍車をかけています。Cho 会長は今年、「カスタマーオブセッションマネジメント」を強調しており、企業に高いレベルの環境意識と責任を求める顧客のために、環境にやさしい事業と活動を積極的に展開しています。

インタラクティブなマルチチャンネル・ニュースリリースの完全版はこちらをご覧ください：
<https://www.multivu.com/players/English/9179751-hyun-joon-cho-hyosung-esg-management/>

暁星の新たな ESG ブランド「RE:GEN」

Hyun-Joon Cho 会長は、2023 年から暁星の ESG ブランド「Re:GEN」を発表し、エコ事業を拡大するなど、エコ製品と技術開発への投資を増やしています。

RE:GEN とは、すべての世代の未来への対応を意味します。それは、現在および将来の世代から求められる持続可能性に応えるために、絶えず革新と努力を続ける ESG 経営活動を表すブランドです。

このブランドは、合計 5 つのテーマに分けられています。△RECYCLE △UPCYCLE：廃棄された材料をリサイクルすることにより、製品として生まれ変わる。△SAVE：資源利用を節約するための技術を開発する。△ZERO：炭素の発生を最小限に抑える。△NEW ENERGY：水素などの再生可能エネルギーを開発する。

繊維、プラスチック、水素など幅広い環境に配慮した事業

現在、Hyun-Joon Cho 会長が暁星の環境にやさしい事業を主導しています。韓国で初めて開発されたペットボトルをリサイクルした繊維「Regen」、世界で初めて商業化に成功したエコエンブラ「Polyketone」、韓国で初めて開発された 750 kW 級風力タービンなど、暁星が先頭に立っているエコ事業を総括しています。

また、既存製品についても環境に配慮した改善を進めています。世界 No.1 のシェアを誇るスパンデックスに環境配慮型技術を組み合わせ、トウモロコシのエキスを抽出したバイオスパンデックスの開発などを行っています。持続可能な未来は、既存事業で探求されます。